



Title	大阪で考えなければならない社会的弱者の結核対策
Author(s)	永井, 仁美
Citation	大阪公衆衛生. 2013, 84, p. 5-6
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/83344
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

今後の対策

①あいりん地域を中心とした西成区の健診の強化 ②自己退院を防ぐため、入院当初より病気の理解や、不満の訴えを入念に聞くなどの十分な患者支援 ③患者の中断リスクに応じた地域DOTSの積極的な導入

最後に

ホームレス結核患者では、今までの生活歴や飲酒問題等から治療を継続していくことが困難な場合が多く、治療成績を改善するためには、患者を中心とした支援が必要であると考えられた。

特集 大阪の結核対策

大阪で考えなければならない社会的弱者の結核対策

大阪府健康医療部保健医療室地域保健感染症課長 永井 仁美

大阪府における結核のり患率は、年々減少し続けているものの（図1）、現在でも全国で最も高く、大阪府は依然として我が国最悪の結核まん延地域である。とりわけり患率の高い大阪市を除いても、東京都に次いで高いため、結核は大阪府全体の問題であると言える。喀痰塗抹陽性肺結核り患率が全国の約2倍と高く、

新規登録患者の4割以上が塗抹陽性である。結核死亡率も全国より高い状況が続いている。「大阪＝結核」のイメージを払拭するためにも、このままの減少率に期待するのではなく、今一度、結核対策のあり方をすべての関係者や府民一人ひとりが考えなければならない時ではなかろうか。

図1 結核新登録患者数およびり患率の推移

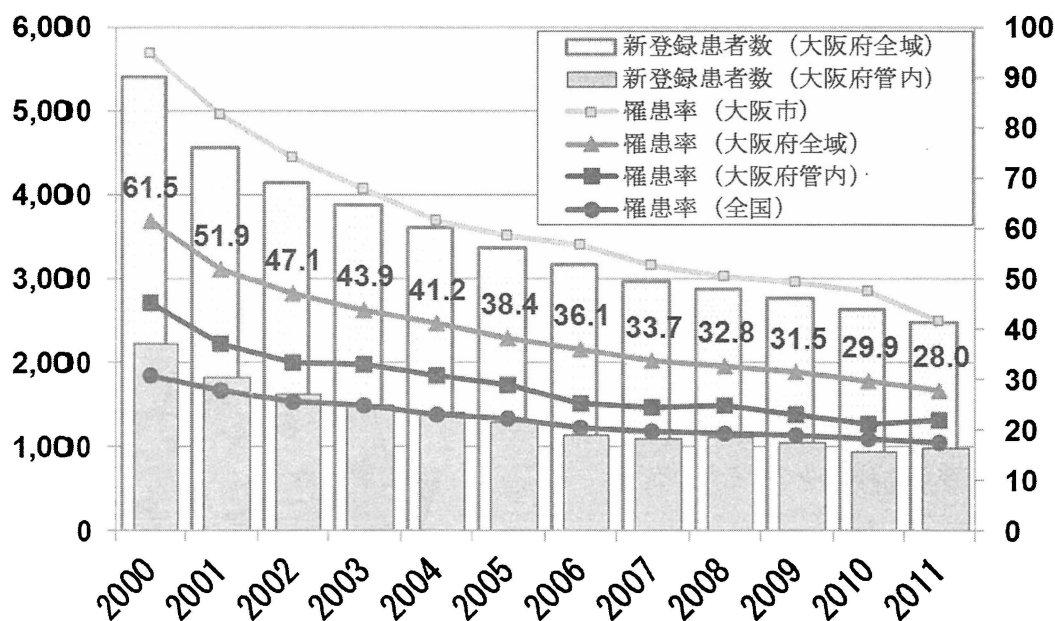
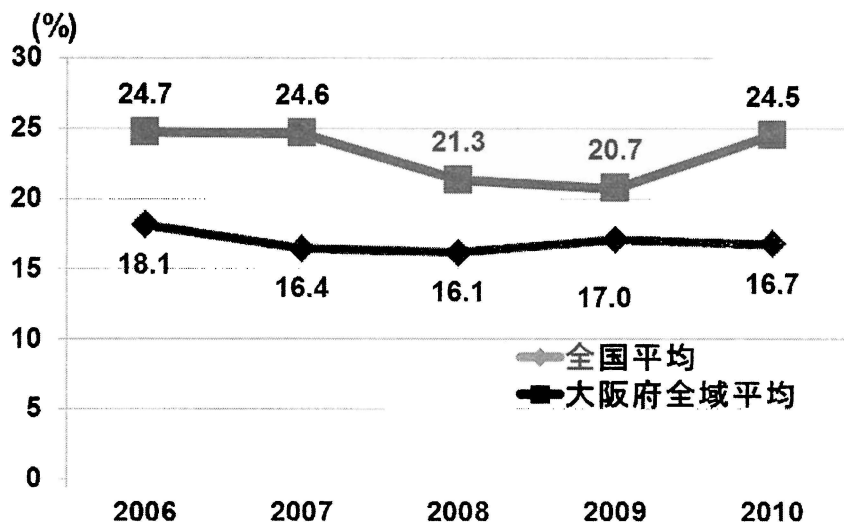


図2 患者発見の遅れ(発病から診断が3ヶ月以上)

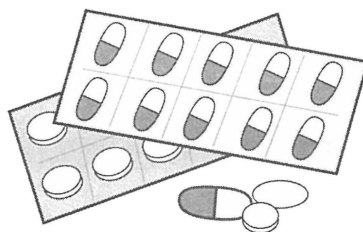


大阪府の結核罹患率が高い理由は?とよく尋ねられる。水の都として栄えた町には多方面から人が集まるため、また大阪という狭い地域に人々がひしめき合って生活するために感染の機会が多いからと聞いたことがある。根拠に乏しいと言われれば否定はできないが、大阪府域の結核登録のデータを見てみると、発病してから診断に至るまでの期間が全国に比べると長いのが特徴である(図2)。患者が医療機関を受診するまでの期間が長く、また、受診した後、医師が結核と診断するまでの期間も長くかかっている。このように、発見が遅れるとその間に排菌状態となり、周囲の人々へも感染させてしまう。こういった連鎖が、大阪の結核事情を改善できない要因となっているのであろう。

医療機関への受診が遅れる理由も様々考えられるが、受診には当然ながらお金がかかる。また就労者であれば、勤務を休む必要もあろう。長引く不況の中、診察や休養よりもその日の生活を第一優先と考える府民も少なからずいる。

高齢者における罹患率も他の年齢層に比較して著しく高い。また新登録患者に占める高齢者の割合も年々増加傾向にあり、施設入所中や、医療機関入院中に発見される例も多い。高齢者に対しても他疾患への関心と同様に、鑑別診断の一つとして結核を忘れないで欲しい。

現在の結核事情は、高齢者、不安定就労者、ホームレスなど社会的弱者への支援制度の充実なしでは改善が困難であろう。このためには、行政はもちろんのこと、医療機関や施設、支援団体そして府民一人ひとりが「大阪から結核をなくす」という思いのもと一丸となって取り組まなければならない。今回のシンポジウムが、さまざまな関係者の気持ちを一つにする機会となるよう強く願う。



SUNSTAR

弱ってきた ハグキに。

とろみの薬用液が
しっかりと留まり、
ハグキ細胞に働く。

ガムアドバンスケア
デンタルリンス

歯周病予防

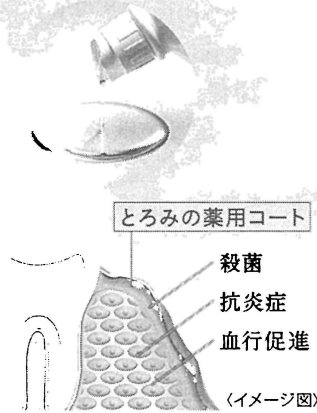
新登場

低刺激

低刺激
ノンアルコール



ガムアドバンスケア
デンタルペースト
好評発売中



医薬部外品 効能・効果:歯周病(歯肉炎・歯周炎)予防 ガムアドバンスケアデンタルリンス:液体ハミガキ
商品のお問い合わせ:0120-008241 www.teamgum.net
サンスター株式会社 〒569-1195 大阪府高槻市朝日町3-1

歯周病菌とたたかう

